

令和6年度第1回鹿児島市DX推進委員会 概要

日時：令和6年7月30日（火） 14:00～15:00

場所：鹿児島市役所 東別館9階 特別中会議室

出席者：（推進委員会委員） 出席7名

（事務局） DX推進部長、CIO補佐官、デジタル戦略推進課長、情報システム課長
他3名

会次第： 1 開会

2 DX推進部長あいさつ

3 委員紹介

4 報告事項

(1) 鹿児島市DX推進計画の進捗状況について

(2) 令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金の交付決定事業について

(3) アナログ規制の点検・見直しについて

(4) 市役所WAN再整備事業について

(5) かがしまデジタルスマートシティ推進協議会の取組について

5 閉会

議事概要： 以下のとおり

発言者	発言内容
<p>【会次第4 報告事項】</p> <p>(1) 鹿児島市DX推進計画の進捗状況について</p> <p>(2) 令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金の交付決定事業について</p> <p>(3) アナログ規制の点検・見直しについて</p> <p>(4) 市役所WAN再整備事業について</p> <p>(5) かがしまデジタルスマートシティ推進協議会の取組について</p>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 「資料1」から「資料6」に基づき説明
委員	<p>質疑等</p> <ul style="list-style-type: none"> 「資料2 鹿児島市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画の具体策毎の取組状況一覧」の取り組みの中で説明いただいたものは、昨年から進展のあった取り組みになるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> お質しのとおり、進展のあったものと令和6年度に新たに取り組むものについてご説明した。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 「資料2」は各取り組みの進捗が分析でき、今後の取り組み方を検討するいい資料だと思う。ざっと見た限りでは庁内向けより市民を対象とした具体策の方が目標未達と見受けられる印象で、いかに市民の方にサービスを使っていたかかを考えないといけない。現況の傾向等どのように整理し受け止めているか。

発言者	発言内容
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・目標未達の具体策のうち、例えば「おくやみコーナー」については事前予約が必要なこと、「がん検診の申込」はweb予約ができることについて認知が得られていないことが想定され、周知広報が必要になると考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい取り組みを行う以上、目標に達しないものは出てくると思う。人の認識を変えていくのは難しい。そこで、次にどうしていくかを考えていく必要がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「がん検診」は、ターゲットとしては高齢者層が想定される。ここにどうやって普及させるかということはデジタルデバインドも関わってきて非常に難しいところ。例えば、整備している市公式アプリと関連させ、そこから予約までできるようにする取り組みもあればいいと思う。 ・目標の未達となった要因が、単に取り組みが知られていないだけなのか、使い勝手が悪かったからなのか、利用者の意見を吸い上げるための対策は講じているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を吸い上げる仕組みとしては用意していない。 ・「がん検診のweb予約」については、令和5年10月から始まった取り組みであり、サービス開始前に従来の予約申込を済まされていたケースも多くあったようである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスを市民の方にどのように普及させるか、広報していくかというのが大事。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「おくやみコーナー」については、普段自ら取りにいかない情報。デジタルによる広報のみでなく、情報が必要と想定される場面にアナログ的な資料を用意することも効果的と考えられる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルデバインドの観点からも、デジタル化だけ進めればよいということでもなく、アナログな手法も残しながらやっていくしかない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「資料6」のデジタルスマートシティ推進協議会について。人材育成や地域の見守りについて取り組んでいくということだが、会員の中に地域の見守りに詳しい会員が見受けられないように思う。鹿児島市が安心安全課と連携してやっていくということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会における行政分野としてはデジタル戦略推進課が主として関わっていくが、必要に応じ庁内の関係各課にも入っていただくこととしている。 ・協議会の会員は、デジタルを活用した取り組みができないかといった観点から募集、参加をいただいているところ。

発言者	発言内容
委員	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度の事業で、小学生に機器を持たせて見守りを行う実証実験があったと思うが、今般なくなったと聞いている。これは市民の声が反映されたものなのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も同事業を行うこととして予算を議会に諮ったが、事業にBLEタグを使用することについて、GPSに対する優位性の面で疑問のご意見があり、取り組みを行わないとしたところ。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 市民を巻き込んだデジタル化では何を改良すべきなのか、パブリックコメントを実施している部署とも連携して、市民の意見を汲み上げる仕組みがあればいいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> デジタルスマートシティ推進協議会について、これから議論がなされていくことになると思うが、例えば見守りについては、関連するNPO等も参画していただく形もよいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> DX推進の一つの動機として人手不足が挙げられているが、教員の職場における人手不足の解消にデジタル化が上手く活用されていない印象を受ける。 採用倍率も随分低くなっている教員の負担軽減は重要で、保護者と教員のコミュニケーションにアプリを用いる等の取り組みは必要と考える。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度、保護者と教員の連絡にアプリの使用を開始し、積極的な利用を呼び掛けていると聞いている。 また、国の方では「教務DX」をデジタル行財政改革の中に掲げており、本市も同様にデジタル化を進めていく方向性としている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 「相乗りタクシー」について、今なかなかタクシーを手配できない状況にある中、よい取り組みだと思う。便利と思う反面、一人で利用するのにハードルが高く感じられ、安全面にも配慮した取り組みとしていただければと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 渋滞や夜間の交通手段の確保等、鹿児島市の交通事情は厳しいものとなっている。採算の取れないコミュニティバスの運用でAIオンデマンドバスを導入する等、対策を進めているところ。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 「かごりん」は資料を見ると目標の達成率が良くないが、便利なのでよく利用している。いい取り組みなので推進してもらえたらよい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 「かごりん」のサイクルポートがあるエリアは市北部の中心地は充実している。もっと南まで広げてもらえたらいいと思う。

発言者	発言内容
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地の活性化が導入当初の趣旨だったと記憶している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体策の指標設定について、達成率では一見優れた取り組みでも、市民目線では効果を実感できないようなものも見受けられる。単にサービス等の利用率がどうかだけでなく、取り組みの効果が分かる指標とし、数値化して設定することが必要と考える。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「児童クラブのタブレット学習支援」について、光回線のない、または不十分な児童クラブにネットワーク環境を整備していくのか、Wi-Fiルーターの増強なのか、取り組み内容がよく分からない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ Wi-Fi設備が不十分なクラブの環境整備を行うものだと思うが、内容が分かりやすいように書いてもらえたらよい。